



# かわら版&たから箱




Face ( ^ ) Z ( ^ ) Face

## ボランティア募集情報



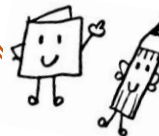
ボランティアセンターでは「ちょっとやってみたい…」から「あんなことやってみたい！」まで、ボランティアさんの気持ちを大切に、いろいろな方たちと顔を合わせながら活動したいと思っています。  
募集内容へのお問い合わせやボランティア依頼なども、お気軽に社協ボランティアセンターへ。お待ちしております。

### 春休み しゃぼんだまの会 子どもたちと一緒にバス遠足に行きませんか！

日時：3月27日（火）9時～15時半   
場所：りんどう会館集合～藤沢～りんどう会館  
内容：午前中は市バスで【いすゞプラザ】（藤沢）へ行きます。午後はりんどう会館に戻り、子どもたちがおやつを作ってお茶会です。子どもたちのそばにいて、見守りや一緒に楽しんでくださる方を募集します。  
その他：昼食は、こちらで用意します。  
■ボランティアセンターまで ☎ 72-2299

### 災害研修を開催します 「その手で守ろう！南足柄市を」

日時：3月24日（土）10時～12時 ※多少の延長あり  
場所：りんどう会館および屋外  
内容：小田原市消防職員協議会会員による講演。炊き出しなど実践型のグループワークを予定。  
備考：初心者大歓迎です。関心のあるどなたでもご参加ください。  
申込：社協ボランティアセンター ☎72-2299



### 平成30年度ボランティア活動保険 3月1日より加入受付開始

	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	350円	510円
天災タイプ（基本タイプ+地震・噴火・津波）	500円	710円

※保険料の変更はありません。

※年度内いつでも加入することができます。活動日の前日までに手続きをお済ませください。

【災害ボランティア】のみなさんは、いざという時に備えて学んでいます！

### ボランティア活動紹介

まだあまり知られていませんが、社協には災害ボランティアとして登録してくださっている方が20名います。災害時、おもに災害ボランティアセンターの運営のお手伝いをしてくださる方たちです。2月8日（木）、久しぶりの開催となった学習会には10名のみなさんが参加。小田原市消防職員協議会の真壁事務局次長による「その手で守ろう！南足柄市を」という講演からはじまりました。休憩時間には、実際に被災地支援の際に使用した防護服やドローンが展示され、好奇心いっぱいの質問が飛び交いました。後半のグループワークはHUG（避難所運営ゲーム）を特別ルールで実施。福祉的な視点やチームワークも大切なのです。これからは、学習会で学んできたことや経験を、地域のために生かす機会も増やしていく予定です。災害ボランティアに関心のある方は、ボランティアセンターまでお問合せください。



## ボラセンとびっくす

来年度も「かわら版&たから箱」を  
よろしく願います

《発行予定日》

5月号 4月25日(水)  
7月号 6月25日(月)  
9月号 8月27日(月)  
11月号 10月25日(木)  
1月号 12月25日(火)  
3月号 2月25日(月)



いつも「かわら版&たから箱」をお読みくださりましてありがとうございます。

ボランティアセンターでは、ボランティア活動情報や募集のお知らせもお待ちしています。お気軽にご連絡ください。

## 地域福祉とびっくす

あんしんセンター講演会「地域活動と個人情報」  
たくさんの方々にご参加いただきました！

2月3日(土)南足柄市中部公民館にて。

毎年恒例！内嶋弁護士による講演会が行われ、90名もの多くの方にご参加いただきました。地域での活動を広げようとするほど、「個人情報」という言葉の前に立ち止まってしまうみなさんにとって、目からウロコの内容だったようです。特に、表札や住所など公開されている「個人情報」と、知られたくない個人の私的な領域である「プライバシー」を混同していたこと、また、「個人情報」は取り扱う機関によって守るべき事柄が違ふこと、「プライバシー」はすべての人が守らなければならないこと等を学ぶことができました。会場からは「あいまいだったところが明確になった」、「地域活動を行う上で大切だと思った」との声が聞かれました。

2/10(土)南足柄地区地域福祉会 合同研修会  
「結集～新しいチカラ 自治会×老人会×福祉会」



1/30(火) 福沢地区地域福祉会  
第3回定例会

(福沢コミュニティセンター)

南足柄地区(11福祉会)が主催し、自治会や老人会の皆様にも参加いただきました。講師に逗子市山の根自治会龍村敦子会長を迎え、防災を切り口として、自治会がより一層つながるためのヒントをいただきました。また、交流会としてグループワークを行い、「一体になるには？」というタイトルで、地域も所属も違うメンバーと、活発な意見交換を行いました。その後、発表を行い、全員で内容を共有。地域が抱える問題、取り組み等を知り、会場からはなるほど！という声が多く聞こえてきました。

今回はいつ起こるかわからない災害時を想定して地域のつながりの必要性を考えました。まずは同じ場に結集して様々な団体の方々と意見交換を出来たことがつながりの第一歩かと思えます。今後も地域に住む一人ひとりが“互近助け合い”を大事にし、新しい地域の子カラが生まれていくことを期待します。

福沢地区(上怒田、下怒田、斑目、千津島、壙下、竹松)の定例会が行われました。「定例会」ではありませんが、例年通りではありませんでした。ご意見番として野村年男氏が参加。野村氏は、地域福祉会の生みの親と呼ばれている方です。昨年の福沢地区研修からのご縁です。「福沢地域が抱えている課題のなかには地域福祉の【原点】がある！」と太鼓判を押してくださいました。

地域福祉会の会長や会員の方々がふだん行っていること…自分から挨拶をする気持ちや、見返りを求めないで行う活動は、菩薩に通じる道だそうです。

地域の方々に喜ばれる行事を大切に行っているそれぞれの福祉会ですが、気持ちはひとつであることを確認し、勇気と元気を分け合って来年度を目指します。